

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61021	教育原理 (A) (B) (A) クラス (火曜・2限) (B) クラス (水曜・2限)	各2単位 後期	1	講義	芳澤 拓也

■テーマ 人間形成と教育

※この授業は旧「教育職員免許法施行規則」に定める「教職に関する科目」、新「教育職員免許法施行規則」における「教育の基礎的理解に関する科目」であり、教職必修科目です。

■授業概要 【題目】人間形成と教育

中学校教員、高等学校教員は、生徒達の人間形成に関わる仕事をしています。その仕事について考えていく際、私たちは教育の分野で蓄積されてきた遺産について学習する必要があります。また同時に、今日の教育現場がどのような変遷を経て成立し、どのような課題を持っているのかについて、子ども・青年が成長する上での課題と関連づけて考察する必要があります。これらを考察するためにこの授業では、① 近現代に教育における基本的理念や概念について教育学の分野における思想、理念、歴史の蓄積をふり取りながら理解し、② 現代日本の学校教育の歩みを、その特徴、その中で発生した「教育問題」、「教育荒廃」といった課題という側面から理解しつつ、これらを子どもの発達、キャリア形成、青年が自立する際の課題と関連づけて考察していきます。

■到達目標

- ① 近現代の教育分野に関わる理念、歴史、思想、および基本的な概念について一定程度理解し、他者に解説することができる。
- ② 青年の自立、キャリア形成をめぐる諸課題について論理的に記述することができる。

■授業計画・方法

	授業内容	準備学習
1	ガイダンス：「教育原理」という科目についてー	ワークを行います。軽装で参加してください。
2	「人」と環境ーアマラとカマラらの事例を考えるー	授業後、授業内容のふりかえりを行うため、ふりかえりシートを記入します。
3	幼児の育ちにみる「自己」と「他者」ー発達と人間形成ー	
4	子どもの発見と近代教育学ー「小さな大人」から「子ども」へー	
5	近代と学校教育ー西洋と東洋ー	
6	戦後日本学校教育の歩み①ー学校、学歴競争と「教育問題」の発生ー	
7	戦後日本学校教育の歩み②ー仲間関係の変遷から見た「いじめ」「不登校」ー	
8	戦後日本学校教育の歩み③ー生徒指導の課題（「いじめ」「不登校」）ー	
9	青年期の課題①ー自立と仲間関係の意味ー	
10	青年期の課題②ーキャリア形成の足場としての「居場所」とアイデンティティ形成ー	
11	戦後日本学校教育の歩み④ー学校教育制度の揺らぎと「教育荒廃」ー	
12	近代公教育の理念としての平等	
13	戦後日本学校教育の歩み⑤ー貧困と学校ー	
14	青年期の課題③ー自立と家族、葛藤ー	
15	小テスト、まとめー現代社会と学校教育ー	

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

授業時間外において、情報を収集したり、読書をしたりしてください。

■成績評価の方法

□方法 平常点（10%）、テスト（40%）、レポート（50%）。平常点は授業への参加意欲、及び「ふりかえりシート」の内容等で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（作品）等

J.A.L. シング『野生児の記録 1 狼に育てられた子』福村出版、1977年。NHK「こども」プロジェクト『裸で育て 君らしくー大阪・アトム共同保育所』NHK出版、2003年、フィリップ・アリエス『<子ども>の誕生』みすず書房、1980年、藤田英典他『教育学入門』岩波書店、1997年、村山士郎他『いじめ自殺ー6つの事件と子ども・学校のいま』国土社、1999年、森田洋司『いじめとは何か』中公新書、2010年、アンソニー・ギデンズ『モダニティと自己アイデンティティ』ハーベスト社2005年、中島純、芳澤拓也『人間形成と教育』野島出版、2004年、上地 完治他『沖縄で教師をめざす人のために』協同出版株式会社、

授業は、基本的にレジュメおよび資料によって進めます